

スクラム十勝

食の安全で初シンポ

11月11日 来月研究者の講演など予定

管内の大学・試験研究機関が連携する「スクラム十勝」の第1回シンポジウムが11月11日午後1時から、帯広畜産大学講堂で開催される。当日

は食の安全・安心などをテーマに講演や意見交換会が行われ、健全な食文化の形成を目指していく。申し込みは11月4日まで。

スクラム十勝は帯広畜産大学をはじめ、農業・生物系特定産業技術研究機構北海道農業研究センター畑作研究部、道立十勝農業試験場、道立十勝圏地域食品加工技術センターなど5機関で構成され、高

度な人材育成を通じて、食の安全・安心の確立を目指している。

当日は食の安全・安心の多様な課題の解決を図るべく各機関の研究者が講演。「美味（おい）しくて安全安心な食材を提供する畑作物の開発研究」（北農研・渡辺治郎畑作研究管理官）、「クリーンな畜産物を目指して」（道立畜産試験場・扇勉畜産工学部長）、「環境に

優しく、安全な農作物生

産に向けた取り組み」（十勝農試・兼平修生産研究部長）、「食の安全確保への学術研究」（帯畜大・長澤秀行理事）などの講演や、意見交換会も開かれる。都市エリア産学官連携促進事業の佐山晃司コーディネーターも同事業の紹介を行う。参加は無料。申し込み、問い合わせは事務局の帯畜大研究国際課（49・5286）へ。（田島士幸）